

安心感地域 No.1を目指します!!

かけはし



はくい三銃士

6 2025
June

Vol. 327

JAはくい



西北台小学校の田植え体験の様子(羽咋市柴垣町)



HP



instagram



LINE

JAはくい 農機・自動車フェア & 春の感謝祭



JAはくいは5月31日、6月1日の両日、JAはくい園芸総合集出荷場で「農機・自動車フェア」と「JAグリーンはくい春の感謝祭」を開催。

農機具や自動車の展示を行いました。イベントブースでは、はとむぎ加賀棒茶の無料配布やJAグリーンの売りつくし市、産直野菜をふんだんに使用した豚汁の販売を行いました。人気の塩鮭には長い列ができた他、タマネギやトマトの詰め放題を楽しむ姿が見られました。

JAはくい女性部 第28回JAはくい女性部通常総会



馳知事による記念講演

宮崎禮子部長はあいさつで、地域活動を通して、「食と農に対する思いを発信し、理解者を増やして食の安全を提供していきたい」と語りました。

記念講演会では参議院議員の宮本周司氏、石川県知事の馳浩氏をお招きし、会場はユーモアあふれる語り口で賑わいました。お二人には今後の政策についての考えを語っていただきました。

来賓として山本好和代表理事組合長、澤田英三郎常務、高木貢部長が祝辞を述べ同席しました。

令和7年度は新たな3か年計画『あい♡』からはじまる「元気な地域」をみんなの力で『初年度として、JAを拠り所としながら積極的な地域貢献活動を進め、活動的な地域づくりを目指します』。

令和6年度はJA全国女性協議会が掲げる3か年計画「JA女性 想いをひとつにかなえよう」の最終年度であり、3つの目標である「つながろう」「まもろう」「かかわろう」の達成に向けて、食・農・地域の活性化とJA事業の積極的な運営を進めました。

86名の部員が参加し、活動報告や表彰を含む全4議案が可決承認され、第4号議案の役員及び参与の選任の件で、新部長に志雄支部の杉中由美子さんが選任されました。

JAはくい女性部は4月26日、第28回通常総会をJAはくい本店大会議室で開催しました。

JAはくい NEWS



はくい三銃士



JAはくいLINE

01
NEWS

JAはくいそさい部会 トンネル開放講習会

JAはくいそさい部会は5月15日、5月下旬から始まる「能登すいか」のトンネル除去を前に現地巡回を行いました。

トンネル除去の目安となる気象条件は、受粉可能となる夜温13度以上、ミツバチが活動する日中15度、花粉管伸長適温となる20度以上の気温が4時間以上続くことなどが目安といい、条件が揃ったタイミングで小づるの3番花の開花に合わせるよう呼び掛けられました。



現地講習の様子
(羽咋市粟生町)

部会では、22戸が約26ヘクタールで栽培。初出荷は7月上旬を見込みます。

02
NEWS

JAはくい押水いちじく部会 芽かき講習会

JAはくい押水いちじく部会は5月15日、主力品種「榊井ドリーフィン」の芽かきの方法や今後の管理について講習会を開催。

芽かきは5月中下旬に行われ、適正な着果量で良質なイチジクの生産を目指します。

今年は3月以降の平均気温が例年並みからやや高く推移しており、生育は順調。

松浦尚輝部会長は「芽かき作業や病害虫防除にしっかり取り組み、良い果実を作りたい」と話しました



芽かき講習会の様子(宝達志水町御籠)

03
NEWS

JAはくい担い手青年部 超耕速代かき機実演会

JAはくい担い手青年部は5月22日、代かき作業機(ハロー)の実演会を行いました。最高速度5.5km/時の超耕速作業時でも仕上がりの美しさが特徴です。

今期から使用している広正千晴副部長は、「少ない水の状態で作業ができ、早く終わる仕上がりが良い。時短になっておりコスト削減になっている。」と感想を話しました。



ハロー実演会の様子(宝達志水町上田)

04
NEWS

JAはくいすも部会 摘果講習会

JAはくいすも部会は5月27日、摘果講習会を開催しました。収穫期が早く、着果が多い品種から始め、小玉果や傷果、上向きの果実を優先的に摘果するよう呼び掛けました。

押水地区の10戸が生産しており、出荷に向けて作業を進めます。松井良久部会長は「近年、天候等の影響を受けて計画通りにいかない所もあるが、目標に向けて部会全体が良いスモモを収穫できるよう頑張っていきたい。」と話しました。



摘果講習会の様子(宝達志水町南吉田)

第27回 通常総代会

JAはくい第27回通常総代会が開催されます。JA運営にかかわる大事な審議です。総代は、組合員の代表としてご出席ください。

●日時：6月29日(日) 10:00～

●会場：コスモアイル羽咋 大ホール
(羽咋市鶴多町亀田25)

【お問合せ】総務部 26-3333

園児・児童たちが 田植え野菜作り体験!



羽咋支店行動計画・
邑知潟水土里ネットワーク

親子で一緒に田植え体験

こすもす保育園

こすもす保育園の年長27人が5月13日、田植えを体験しました。羽咋市旭町の渡勝己さんが田んぼを提供されました。

園児は、はだしで水田に入り「コシヒカリ」の苗を植えました。年中以下が応援に駆け付け、賑やかな雰囲気の中での作業となりました。

この日は保護者20人も一緒に参加しており、親子で一斉へ田んぼに入り、生息する生き物、泥の感覚に歓声を上げ、体験を楽しみました。

JAはくい女性部食育応援

邑知保育園

みんなと育てるバケツ稲

邑知保育園の年長16人は5月12日にバケツ稲作りを行いました。

J Aはくい女性部の食育応援活動で、杉中由美子部長と参与の宮崎禮子さんが手本を示しながら、分かりやすく指導しました。

園児はバケツに「コシヒカリ」の苗を植え付けた後、「大きなあれ、おいしくなあれ」と声をかけました。

宮崎さんは「お米が周りの仲間と一緒に育つところはみんなと同じだね!お世話頑張っ!」と園児を励ましました。



蟹座
6/22 ~ 7/22

【全体運】 勢いのある好調連。新たな計画は幸運に恵まれます。迷ったらまずは試してみてください。方向修正も大胆に行いましょう



JAはくい女性部食育応援

西北台保育所

大きなあれ! バケツ稲

西北台保育所は5月12日にバケツ稲作りを行い、年中と年長の14人が参加しました。

J Aはくい女性部が食育応援活動として協力しました。

苗の植え方は、J A女性部の松本公子副部長と役員の野川外茂子さん、参与の宮崎禮子さんがお手本を示しながら、優しく教えました。

園児はバケツに「コシヒカリ」の苗を植え付け、みんなで「大きなあれ」と声をかけました。

秋には稲刈りを行い、脱穀や粳すりも体験する予定です。

双子座
5/22 ~ 6/21

【全体運】 好きなものに目がなくなりそう。羽目を外しやすいので、やり過ぎには気を付けて。友人とのレジャーは楽しめます

元気いっぱい米づくり



邑知小学校の5年生は5月23日、羽咋市尾長町の濱田栄治さんの指導のもと田植えを体験しました。

児童たちは「ひゃくまん穀」の苗を元気いっぱいに植え、今回の体験の感想と振り返りを文章にまとめます。

初めて体験した高田瑛介さんは、「泥の感触や生き物に戸惑ったが、次々に苗を植えていく内に慣れていった。」と振り返り、辻田統さんは「最初は緊張したが、慣れてくると楽しい。」と感想を話してくれました。

収穫が楽しみな夏野菜の苗植

邑知中学校の2年生29人は5月19日、校内の畑で夏野菜の苗植えを体験しました。

JAの園芸課職員、別宗担当が植え方や今後の管理について指導しました。

生徒たちはナス、ピーマン、シシトウ、オクラの4種類を栽培します。

植えた苗の今後の成育をタブレットで撮影し、成育状況を観察記録していきます。

オクラを植えた北川凜華さんは、「家で祖母が野菜を育てているので、私も収穫するオクラをおいしく食べられるように、ちゃんと野菜を育てたい。」と話しました。



ドキドキ田植え体験

西北台小学校の5年生7人は5月14日、学校近くで田植えを体験しました。

羽咋市柴垣町の松田久さんが田んぼを提供しました。

はだしで一斉に田んぼに入り、慣れない泥の感触と田んぼの生きものに悲鳴を上げる児童もいました。

松田さんは能登地区のJAなどがブランド化を進める能登米「コシヒカリ」を栽培しています。

田植え体験の後、「これから米の勉強のためにバケツ稲を行うので、苗を持ち帰らせてほしい」とお願いする児童、松田さんは快く苗の提供を承諾していました。

「植えた苗は責任を持って管理するので、秋の収穫を楽しみにしてほしい」と児童に呼び掛けました。

資材販売についてのお知らせ

JAグリーン店舗閉店(5/29(木))に伴い、(仮称)資材センターの開店(7月下旬)までの期間につきましては、アグリショップ宝達でお買い求めいただくか、本店経済課までご連絡ください。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】 経済課 ☎0767-26-3339

ケット水分計点検のお知らせ

水分計の点検を実施します。水分計の不良による過乾燥、水分過多防止のため、ぜひこの機会に点検いただきますようご案内いたします。

■対象機種：ケット化学

■点検料金：無料

(7/4以降は有償となります。)

■申込期限：7月4日(金)

■持込場所：農機センター、営農センター
各支店までお持ちください



7/14以降に持込場所まで

引取りをお願いします。

水分計に集落名・氏名・電話番号
を明記してください。

【お問い合わせ】 農機センター ☎26-2383



今月は園児、児童の田植え体験の取材へ赴きました。私も小学生の頃に始めて田植えを体験したのですが、素手・素足が冷たい泥に沈み込む感覚や、底に当たる硬い石、触れた生き物の感触を覚えています。

その時に指導して頂いた方が今も同じ小学校の田植え体験に協力してくださっていたので、驚いたのと同時にとても懐かしい気持ちになりました。(西川)



「東野ひでぎプロフィール」
全国農業者農政運動組織連盟 顧問
道北なよろ農協会長理事
昭和四十六年 北海道名寄市生まれ
政治信条…まっすぐな農政



「需要に応じた米政策」について
令和の米騒動として米価高騰が連日のように新聞・テレビで報道されています。米は日本の食文化の中核をなす食料であり、その安定供給は日本の食料安全保障にとって重要なことから、米政策として政府が大きく関与してきました。今回はわが国における米政策について解説します。

わが国における米政策は、食糧制度による政府が米価決定・全量買入ルールから、平成七年に食糧法が制定され価格自由化へと政策大転換が行われました。

その後、主食用米の年間消費量が減少する中、平成三十年産からは行政による生産数量目標の配分を廃止し、産地・生産者が中心となり、需要に応じた多様な米の生産・販売を行う米政策へと見直しが行われました。

一方で農林水産省は年三回程度「米穀の需給と価格の安定に関する基本方針」

を策定し、主食用米生産量、米の一人当たり消費量、民間在庫量等から算出した主食用米の需給見通しを発信しています。各県では需給見通しを基に市町村別の主食用米の生産目安(生産基準数量)を設定し、需要に応じた米生産と水田フル活用の取り組みを推進しています。

昨今の米不足は供給の不安定化と需要構造の変化から、長期的かつ深刻な課題となっています。

供給面では、長年に亘る減反政策、気候変動や自然災害の頻発、さらに離農や農業従事者の高齢化等による労働力不足が、生産に大きな影響を及ぼしています。一方で需要面では、消費者の食生活の多様化や人口減少に加え、インバウンド需要の急増が需給バランスを一層複雑化させています。

政府は、昨年から続く米価高騰を抑えるため備蓄米の放出を決定し、県内でも四月からAコープ店舗等でも販売されていますが、農業者は一過性の米価高騰よりも安定供給による生産コストに見合う価格形成を期待しています。JAグループとしても農業者の願いを米政策に反映させるべく、農政運動を通じて政府に政策提言しているところです。



まちがい探し

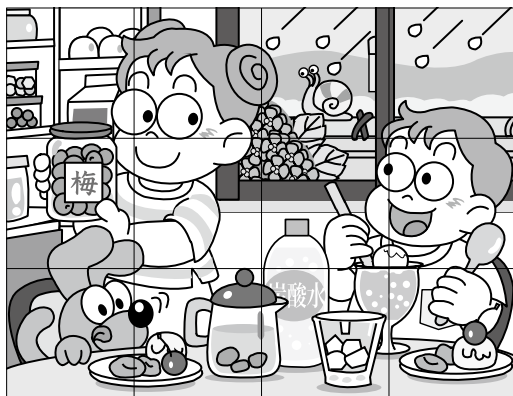
今回の賞品



キララはくいで使用できる
「農業全国商品券」1000円分
(抽選で10名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。

見つけて
スッカリ！



先月号(5月号)の答え

- 2 … こいのぼりがいない
- 4 … 湯気が多い
- 5 … あんこが付いている
- 9 … かしわ餅が少ない
- 11 … しっぽが見える

応募方法

ハガキに ①答え(5カ所の番号) ②住所・氏名・年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な話題などを添えてご応募下さい。

●宛 先／〒925-8588 羽咋市太田町と105

J Aはくい本店 広報担当

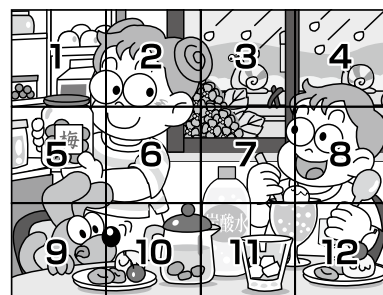
●応募締切／6月30日(月) 当日消印有効

☆郵送または最寄りの支店にご持参ください。

☆QRコードの応募フォームからもご応募いただけます。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。

※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。



5月号のご応募ありがとうございました。(応募96通)

松坂 久代 様 山渡 真実 様 河邊 昌美 様 酒井麻佐子 様 井上 妙子 様
山田久美子 様 坂本 外江 様 小松 久恵 様 山下 利美 様 高瀬 幸子 様

理事会だより

第2回理事会

5月30日(水) J A本店 大会議室

< 事前報告 >

第27年度(令和6年度)決算にかかる監事監査報告書

< 議 案 >

- (1) 第27年度(令和6年度)決算の承認について
- (2) 第27年度(令和6年度)通常総代会提出議案について
- (3) 第27回通常総代会議決行使書書面の取扱いについて
- (4) 令和6年度JAはくい功労賞基金の会計報告について
- (5) 固定資産の処分について
- (6) (株)JAアグリはくいへの役員派遣について
- (7) 組合員の出資口数の減口について

< 報 告 >

- (1) 組合員の加入及び脱退について
(組合員新規加入・脱退者一覧)
- (2) 経済部倉庫一部改修工事の一部見直しと入札結果について
- (3) 地方公共団体等に対する貸出報告について
- (4) 実績報告等(信用・共済部門)について
- (5) 実績報告等(営農部門)について
- (6) 実績報告等(経済部門)について
- (7) 実績報告等(福祉部門)について
- (8) 実績報告等(総務部門)について
- (9) (株)JAサービス営業報告について
- (10) (株)JAアグリはくい営業報告について



【すいか集出荷業務】

アルバイト 大募集

【期間】
7月上旬
～8月上旬

仕事内容 すいか集出荷業務

職 種 ①箱パレット積み ②軽作業

時 給 ①1,050円 ②985円
※集出荷量により変動あり

勤 務 ①7:30～16:00 ②8:00～17:00
※集出荷量により変動あり

場 所 JAはくい園芸総合集出荷場
(石川県羽咋市中川町へ11-1)

業務時間・作業内容は
ご相談に応じます
園芸課までお気軽に
ご相談ください

お問い合わせ

JAはくい園芸課
☎0767-29-3155

社会労務士の先生が年金の仕組みや
手続きなどの質問にお答えします！

※事前にご予約が
必要です！

持参するもの
年金手帳
ねんきん定期便
認印

**年金
相談会**

JAはくい
羽咋支店 7.13(日) 9:00~15:00
※26-0008



ポイント

PayPayでお支払いをする

PayPayポイント

5%

戻ってくる

最大

PayPayクーポン

実施期間

2025/6/1~2025/6/30

※期間終了後も

※期間中のみ有効

クーポンを獲得して、そのまま PayPay で支払うだけ！

1

ここから

探して

2

クーポンを

獲得すると

3

支払い時に

自動で適用！

【付与上限】

※付与されるPayPayポイントは、PayPay・PayPayカードが支払った分の利用額、商品・サービス利用額、手数料の合計額が上限となります。1日あたり最大50,000円となります。※付与はPayPayアプリ上でご確認ください。

※クーポン利用は1回あたり最大10,000円となります。※実施期間内はPayPayアプリ上でご確認ください。

こちらからも

簡単です！

7月・8月はイノシシ 被害防止強化期間です！

多機能ホームJAたんぼぼ

JAグリーンはくいでお買い物♪

苗選び～精算まで自立支援を
サポートいたしております！

夏野菜・園芸用品を買いに
JAグリーンへ出掛けました！

羽咋市デイサービス

ツバメの親子に挨拶😊

玄関にツバメが巣をつくりました！ 元気に巣立ってほしいです！

たんぼぼ通信

舞踊・民謡シヨ一の鑑賞会

たんぼぼデイサービスセンター

5月21日、高松
民謡会岡田乃会・
末森城民舞保存会
の皆様による民謡
シヨ一を鑑賞しま
した。
見事な歌と踊り
で皆さん盛り上が
りました。

＼『介護職』『看護師』を募集しています／

「あなたの力」で、みんなを笑顔にしてみませんか！

【お問い合わせ】福祉ふれあい課

多機能ホームJAたんぼぼ ☎29-2880